

急性期 DIC 診断基準の改訂 (JAAM-2 DIC 診断基準) に関するお知らせ

日本救急医学会
会員各位

播種性血管内凝固 (DIC) に関する診療と研究は日本がこれまで世界をリードしてきた領域です。わが国で広く使用されてきた急性期 DIC 診断基準ですが、策定から 18 年が経過し、SIRS スコアが臨床使用されなくなったなどいくつかの課題が生じました。この度、SIRS 基準を除きカットオフを 4 点から 3 点へと変更した「改訂版急性期 DIC 診断基準 (JAAM-2 DIC 診断基準)」が公開となりましたので、お知らせいたします。JAAM-2 DIC 診断基準を幅広く臨床使用いただくとともに、その有用性について評価を続けてまいります。

なお、DPC における DIC コーディングルールで使用する診断基準を JAAM-2 DIC 診断基準へ差し替える件については厚労省と協議中です。

今回改訂となった JAAM-2 DIC 診断基準

	ポイント	JAAM DIC (旧)	JAAM-2 DIC (新)
Platelet counts	3	< 80 × 10 ⁹ /L or > 50% decrease/24 h	< 80 × 10 ⁹ /L or > 50% decrease/24 h
	1	≥ 80, < 120 × 10 ⁹ /L or 30-50% decrease/24 h	≥ 80, < 120 × 10 ⁹ /L or 30-50% decrease/24 h
FDP or D-dimer	3	≥ 25 µg/mL	≥ 25 µg/mL
	1	≥10, < 25 µg/mL	≥10, < 25 µg/mL
Prothrombin time	1	≥ 1.2	≥ 1.2
SIRS スコア	1	≥ 3	評価しない
DIC 陽性の基準点		4 点以上	3 点以上

DIC 特別委員会
委員長：山川 一馬
担当理事：織田 順

参考文献

Yamakawa K, Umemura Y, Mochizuki K, *et al.* Proposal and Validation of a Clinically Relevant Modification of the Japanese Association for Acute Medicine Disseminated Intravascular Coagulation Diagnostic Criteria for Sepsis. *Thromb Haemost.* 2024;124(11):1003-1012.